

事務事業名	芦安地区結婚関連支援事業		所属部局	市民部		単位番号	4137			
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	芦安窓口サービスセンター		課長名	伊東 仁			
			所属担当	窓口サービス担当		担当者名	五味 正寿			
基本政策	基本計画	III	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	15	うるおいと利便性のある都市づくり	事業区分	01	一般	02	01	07	040	08
施策	25	市街地・住環境の整備		<input checked="" type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業		<input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業		<input type="checkbox"/> 補助金交付事業	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度) 年度)			法令根拠	南アルプス市過疎対策条例・施行規則					
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 芦安地区の人口の減少を防止するとともに、住民の増加と定住化を図るため芦安地区に住所を有する者が婚姻し、定住した場合に結婚祝金を支給する。 尚、平成24年度まで支給の、仲人慰労金(30,000円)は暫定条例の廃止及び南アルプス市過疎対策条例の制定により、廃止となった。			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)						
	結婚祝金 50,000円			項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
				その他報償金	0		計 0			

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容	広報誌等を活用し、若者世代の定住化推進を図る。	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
	27年度活動予定	新たに策定する過疎自立促進計画及び住民参加型による芦安みらいサロン検討会において、住民の増加と定住化を検討していく。			ア申請件数	件
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	条例・規則を満たした、芦安地域に定住する夫婦		⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア結婚して芦安地区に定住した者	件
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	結婚して芦安地区に定住したいと思う夫婦		⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア芦安地区に定住したいと思う夫婦	件
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	芦安地区の人口の増加に繋がる。		⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア芦安地区の人口	人

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	
		国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	0	0	0	50	100	100	
		事業費計(A)	千円	0	0	0	50	100	100	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1		
		延べ業務時間	時間	1	1	1	1	1		
		人件費計(B)	千円	5	5	5	5	5	0	0
		(A)+(B)	千円	5	5	5	55	105	100	0
	活動指標	件		0.0	0.0	0.0	1.0	2.0	2.0	
		千円		0.0	0.0	0.0	50.0	100.0	100.0	
	対象指標	件		0.0	0.0	0.0	1.0	2.0	2.0	
	成果指標	件		0.0	0.0	0.0	1.0	2.0	2.0	
	上位成果指標	人		378.0	365.0	349.0	360.0	370.0	380.0	

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	①昭和61年4月より芦安村過疎対策条例を制定し本事業を開始する。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか?また、今後の予測は?	②芦安地区の人口の減少防止及び地区住民の増加と安定化を目的にしている。過疎の進行を防止するため昭和61年に芦安村過疎対策条例を制定し、本事業が開始された。平成15年に510人であった人口が、平成25年には365人となり約150人が減少している。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	③地域振興策は、第一に人口の増加が求められている。空き家対策及び市営住宅への若者家族の優先的入居が、緊急の課題であるとの意見が地域から出ている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	平成25年度以前から、地域で活動する団体を中心に、地域活性化の取組みを行ってきた。又、市営住宅担当とも連携し、定住化に向けた結婚関連支援事業のPRを行ってきたが、人口減少に歯止めがきかない状況となっている。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	地域住民参加型による将来構想づくり検討会を行い、5つのアイデアが提案された。今後、提案された5つのアイデアをもとに人口減少対策、住民の増加と定住化対策を図っていく。

事務事業名	芦安地区結婚関連支援事業	所属部	市民部	所属課	芦安窓口サービスセンター
-------	--------------	-----	-----	-----	--------------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 経済的負担の軽減を図り、芦安地区に住みやすいと感じる人が増え、人口の増加に繋がるため、上位目的に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 芦安地区の地域振興を図る上で、行政として重要である。そのために市が関与するのは妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 事業の維持・継続を行わないと、更なる過疎化が進んでしまう。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 社会・経済情勢の変化を考慮した中で、事業内容の見直し検討を図ることで、成果の向上が見込める。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 過疎化が進行している現状を鑑み、本事業の休止・廃止をした場合、過疎化は一層進行する。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 人口減少を防止するとともに、過疎地域住民の増加と、定住化を図ることを目的として条例制定されており、地域住民に対する期待度が大であるため。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 必要最低限の経費であり、削減余地はない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 必要最低限の経費であり、削減余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 補助対象者が条例により定められており、公平である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	人口の増加と定住化を図り、過疎化の進行を防止することを目的として本事業が開始されたが、社会情勢の変化・市民ニーズ等の変化に伴い年々、人口減少の歯止めがきかない状況である。 又、昨年度同様に若者世代の定住化を図ることができないため、事業実績はない状況となっている。 今後、芦安地区の将来構想づくり検討会において提案された、5つのアイデア及び新たな過疎自立促進計画策定の中で、結婚関連支援事業について検討を行い、住民の増加と定住化を図っていく。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
① 地域住民、行政、第三者機関等の意見を聞く中、人口の増加と定住化について検討していく。 ② 更なる広報誌等を活用し、若者世代の定住化をPRする。 ③ 平成26年度に策定した芦安地区の将来構想にもとづき、過疎対策を図っていく。 ④ 地域で提案されたアイデア実現に向けた取組みを行い、過疎対策を図っていく。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
① 人口の減少の対応策の検討。 ② 芦安地区の定住化を図るための地域活性化事業等の導入。 ③ 新たな過疎地域自立促進計画策定による課題解決。	成果優先度評価結果																					
	コスト削減優先度評価結果																					